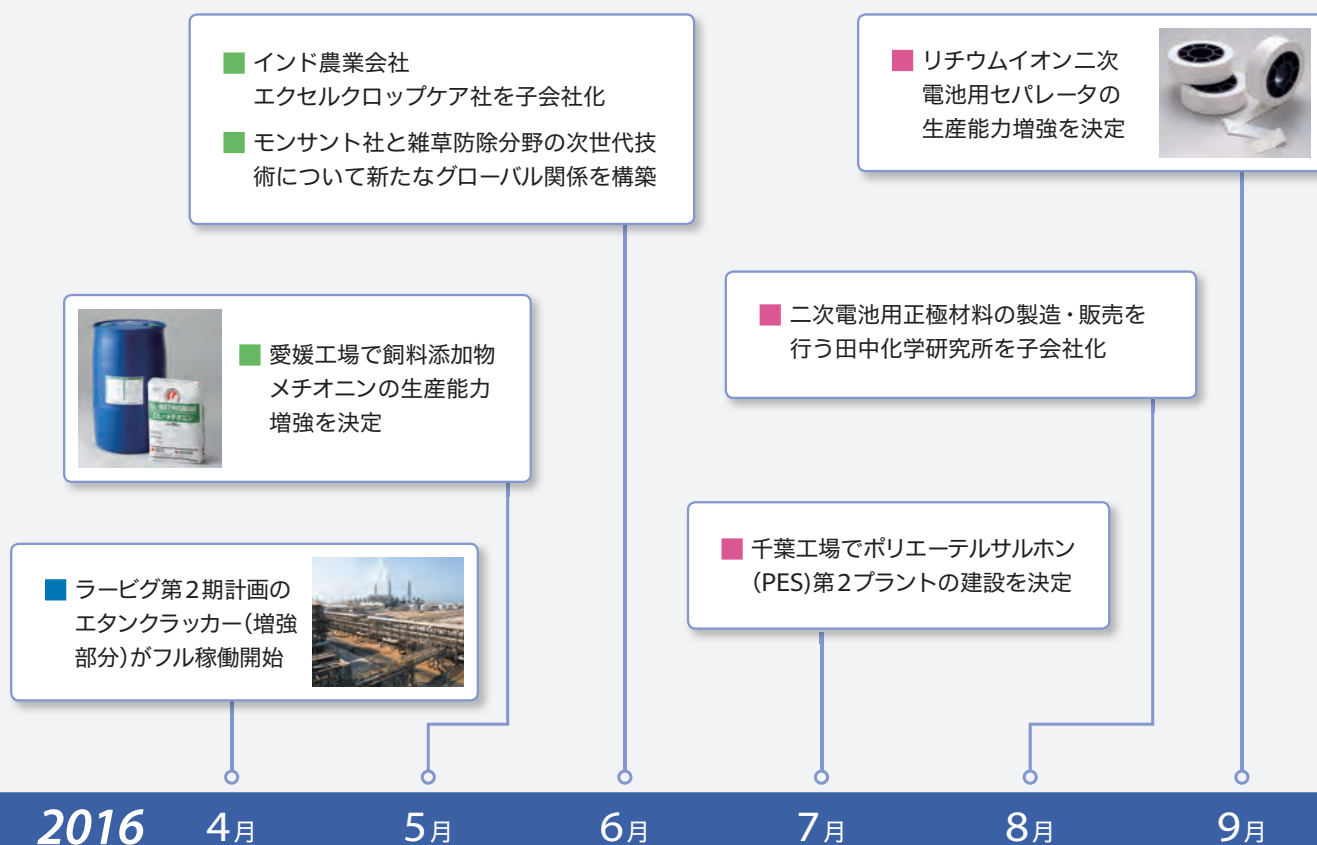


2016年度は、2016～2018年度の中期経営計画で実施すべき主要施策を前倒して実施しました。
また、サステナブルな社会の実現に向けた新たな取り組みも開始しました。

事業部門別トピックス



全社トピックス

ホームページにSDGsサイトを開設

<http://www.sumitomo-chem.co.jp/csr/management/sdgs/>



CSR推進部長
福田 加奈子

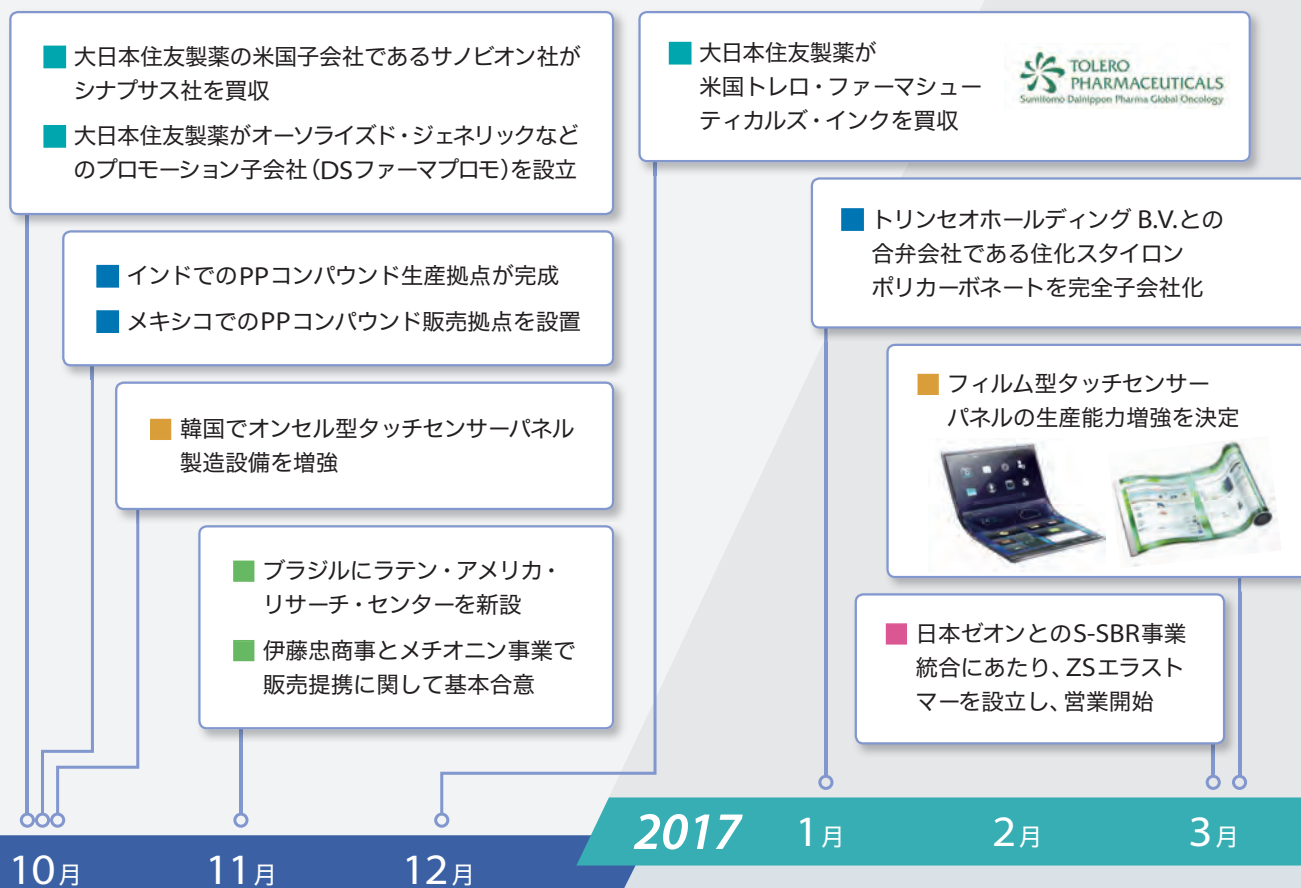


住友化学は、事業活動や企業の社会的責任を果たすための取り組みを通じ、国連の持続可能な開発目標 (SDGs) の目標達成に寄与したいと考えています。2016年5月には当社ホームページにSDGsサイトを開設し、当社とSDGsの関連について紹介しています。

▶ SDGsへの取り組み事例はP63を参照

■ 石油化学 ■ エネルギー・機能材料 ■ 情報電子化学 ■ 健康・農業関連事業 ■ 医薬品

(注) 各トピックスの年月は、リリースの発表時期(2016年10月の■除く)



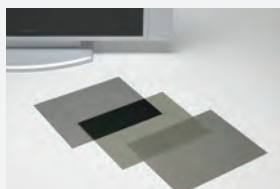
「Sumika Sustainable Solutions」の認定開始

Sumika Sustainable Solutions とは?

地球温暖化対策、環境負荷低減などに貢献する当社の製品や技術を認定し、その開発や普及を促進する取り組みです。

▶ 詳細はP25を参照

認定製品例



偏光フィルム



ポリエーテルサルホン
「スミカエクセル®」



防虫剤処理蚊帳
「オリセツトネット®」

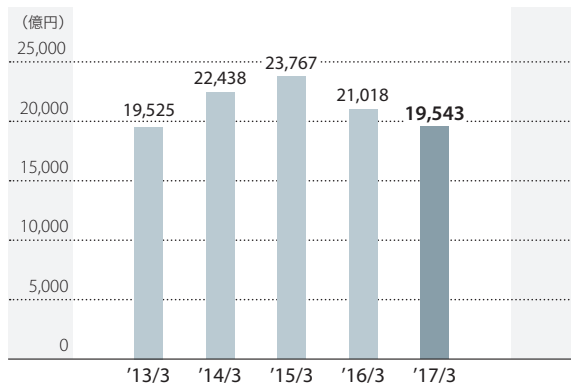


飼料添加物メチオニン
「スミメット®」

財務ハイライト

売上高

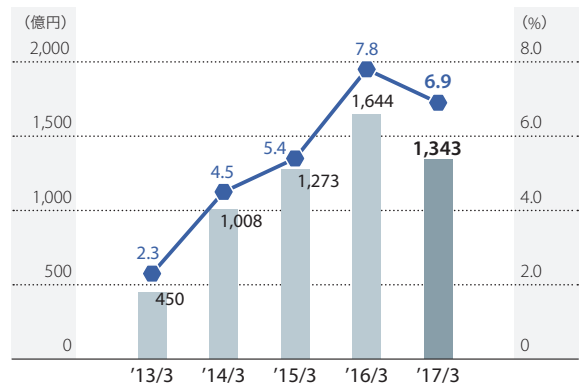
19,543億円 2015年度比 **-7.0%** ↓



情報電子化学や医薬品の出荷が増加したものの、円高による在外子会社の邦貨換算差の影響や販売価格の下落により、前年度に比べ1,475億円の減収になりました。

営業利益／営業利益率

1,343億円 (営業利益) 2015年度比 **-18.3%** ↓

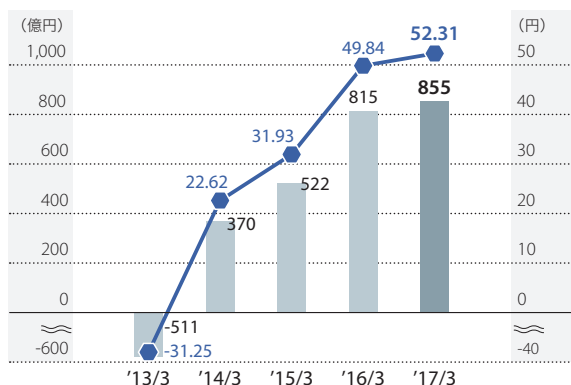


■ 営業利益(左軸)
● 営業利益率(右軸)

医薬品や情報電子化学、エネルギー・機能材料の出荷が増加したものの、情報電子化学の売価ダウンに加え、メチオニンの市況下落に伴い、前年度に比べ301億円の減益になりました。

親会社株主に帰属する当期純利益(損失)／1株当たり当期純利益(損失)

855億円 (親会社株主に帰属する当期純利益) 2015年度比 **+4.9%** ↑

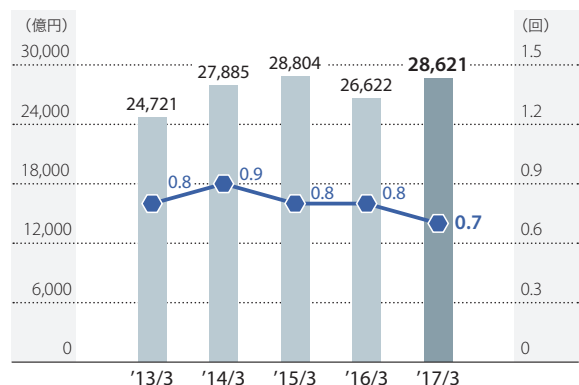


■ 親会社株主に帰属する当期純利益(損失) (左軸)
● 1株当たり当期純利益(損失) (右軸)

サウジアラビアおよびシンガポールの持分法会社が増益となったことに加え、法人税等の負担が減少したことから、前年度に比べ40億円の増益となり、過去3番目に良い業績になりました。

総資産／資産回転率

28,621億円 (総資産) 2015年度比 **+7.5%** ↑

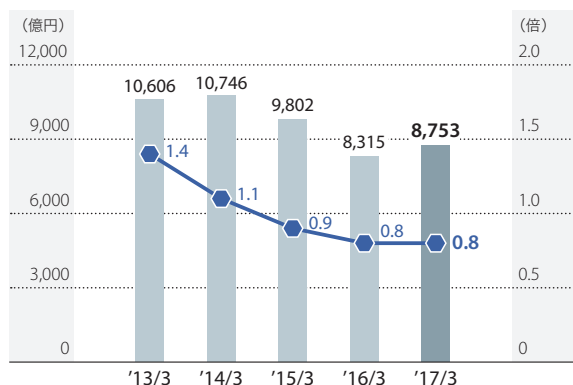


■ 総資産(左軸)
● 資産回転率(右軸)

子会社の大日本住友製薬株式会社における大型の企業買収により、無形固定資産が増加したことなどから、前年度末に比べ1,999億円増加しました。売上の減少もあり、資産回転率は悪化しました。

有利子負債／D/Eレシオ

8,753億円 (有利子負債) 2015年度比 **+5.3%** ↑

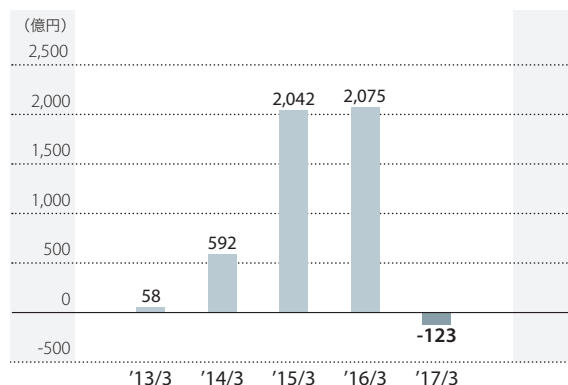


■ 有利子負債 (左軸)
● D/Eレシオ (右軸)

大型の企業買収を複数実施したため、有利子負債残高は前年度末に比べ437億円増加しましたが、純資産も増加したことからD/Eレシオは前年度末並みとなりました。

フリー・キャッシュ・フロー

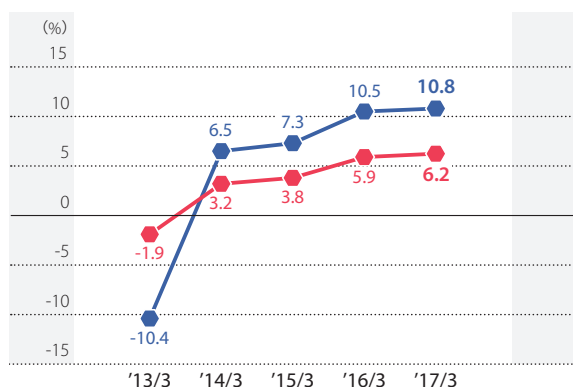
-123億円 2015年度比 **—**



営業キャッシュ・フローは1,874億円の収入でしたが、大型の企業買収を複数実施したため、投資キャッシュ・フローでの支出が増え、フリー・キャッシュ・フローはマイナスとなりました。

ROE／ROI

ROE **10.8%** 2015年度比 **+0.3pt** ↑ ROI **6.2%** 2015年度比 **+0.3pt** ↑

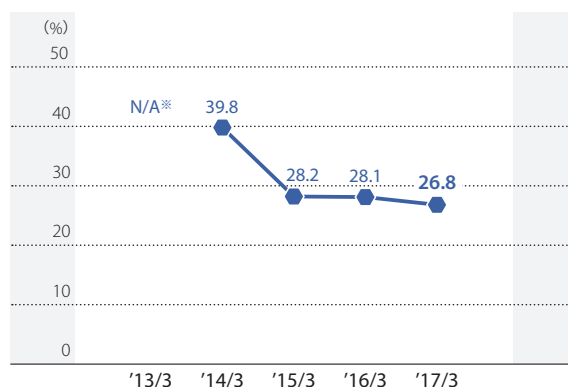


● ROE
● ROI

ROE・ROIともに前年度に比べ改善し、ROEは目標とする10%を2年連続で達成しました。ROIも目標としている7%に近づけることができました。

配当性向

26.8% 2015年度比 **-1.3pt** ↓



住友化学では、株主還元を経営上の最重要課題の一つと考え、30%程度を目標としています。本年度も概ね目標に近い数値を達成できました。

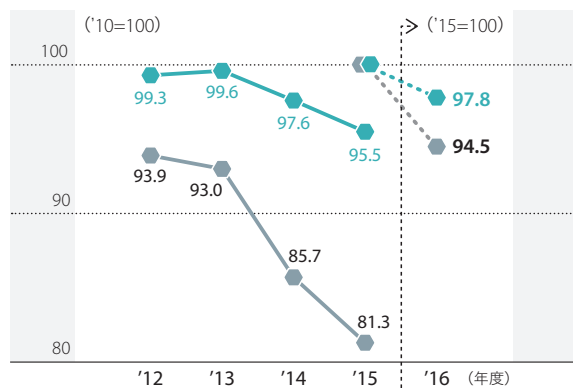
※ 損失を計上したため、配当性向は計算不能

非財務ハイライト

国内CO₂排出原単位指数※／
海外CO₂排出原単位指数※



国内 **97.8** 2015年度比 2.2pt改善 ↓ 海外 **94.5** 2015年度比 5.5pt改善 ↓



● 国内CO₂排出原単位指数
● 海外CO₂排出原単位指数

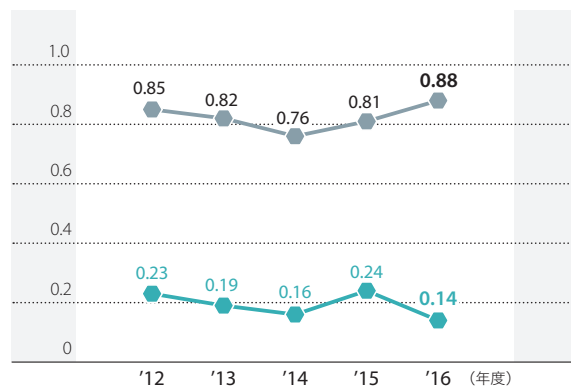
2016年度のエネルギー起源CO₂排出原単位指数は、国内で前年度比2.2pt、海外で同5.5pt改善しました。

※ CO₂排出原単位削減目標を共有する、住友化学と主要グループ会社の生産工場が対象

休業災害度数率※



0.14 2015年度比 0.1pt改善 ↓



● 住友化学グループ
● 日本の化学工業

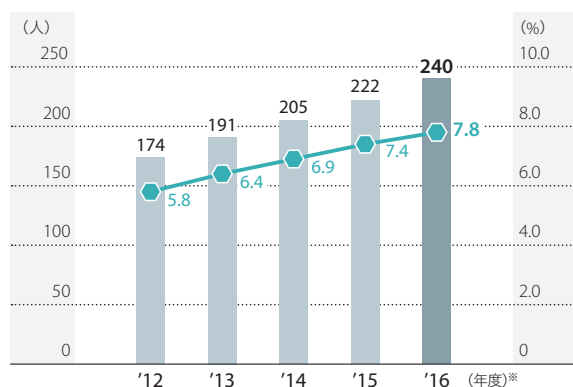
2016年度の休業災害度数率は、住友化学グループ全体で0.14となり、前年度比で0.1pt改善しました。

※ 100万延労働時間当たりの休業災害による死傷者数をもって、休業災害の頻度を表すもの

女性管理社員数／
女性管理社員比率(単体)



7.8%(女性管理社員比率) 2015年度比 +0.4pt ↑



■ 女性管理社員数(左軸)
● 女性管理社員比率(右軸)

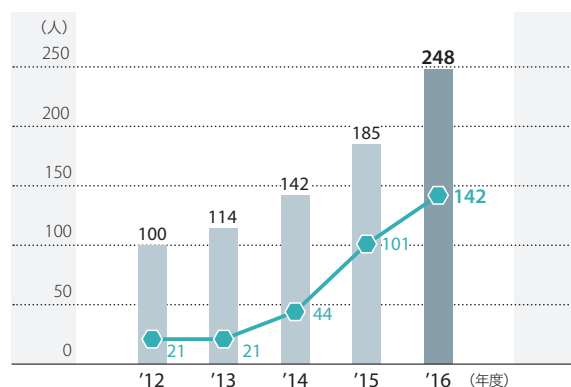
2016年度の女性管理社員数は昨年度から18名増加し、住友化学単体の管理社員数に占める女性の割合は7.8%となりました。

※ 各年度4月1日現在

育児休業取得者数／
男性育児休業取得人数(単体)



142人(男性育児休業取得人数) 2015年度比 +41人 ↑



■ 育児休業取得者数
● 男性育児休業取得人数

2016年度の育児休業取得者数は、昨年度から63名増加し、248名となりました。そのうち男性社員は142名となり、41名増加しました。

● Sumika Sustainable Solutions (SSS)



住友化学グループは2016年度より、温暖化対策、環境負荷低減などに貢献する製品・技術を“Sumika Sustainable Solutions”として認定することとしました。それらの開発・普及を促進することにより、持続可能な社会を構築するためのソリューションを提供し、SDGsの達成に貢献したいと考えています。

SSS認定要件

- ①温室効果ガスの排出削減に資するもの
- ②気候変動による影響の適応に資するもの
- ③廃棄物・有害物質の削減や環境負荷低減に資するもの
- ④水資源の効率的な利用に資するもの
- ほか5項目

環境負荷低減への貢献量

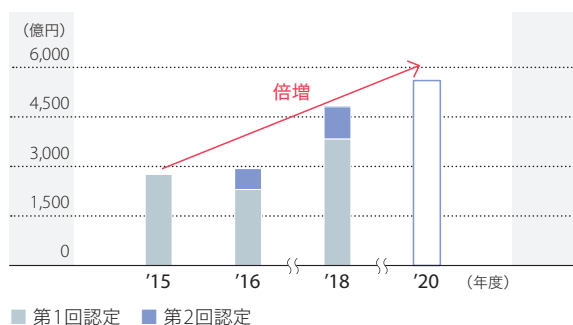
現時点で認定されている製品の売上実績は2,934億円(2016年度)で、製品ライフサイクルを通じた温室効果ガスの削減貢献量は、約5,300万トン(CO₂換算、2020年度予測値)です。

SSS認定の流れ

研究所・工場、グループ会社から認定する製品や技術の提案を受け、認定委員会にて正式に認定します。
また、認定要件の検討の際には、第三者機関のアドバイザリーを受けています。

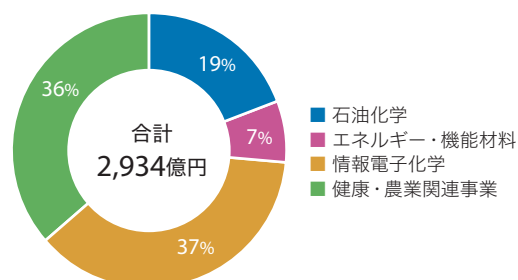


認定製品・技術の売上高推移



これまでに34の製品・技術を認定しており、これらの売上を早期に倍増することを目指しています。

部門別認定製品・技術の売上高比率(2016年度)



各事業部門紹介ページ(P39, 43, 47, 51)に、認定製品・技術を掲載しています。